

けんせつ小町・チーム”愛”「産×官の女性技術者による建設業の職場環境改善・働き方改革」

愛知国道事務所	正会員	○高橋	治
愛知国道事務所	正会員	内藤	洋
愛知国道事務所	非会員	東野	竜哉
愛知国道事務所	非会員	東山	菜緒美

1. はじめに

中部地方整備局愛知国道事務所では、産官を通じた建設業及び関連業（以下「建設業」）の担い手確保の一環として、女性技術者の活躍推進に取り組んでおり、建設会社・建設コンサルタント会社・行政等の女性技術者から構成される「けんせつ小町・チーム”愛”」（以下「チーム愛」）を平成28年度に結成し、建設業の職場環境の改善や体制・制度の拡充を目的とした勉強会や学生への入職支援活動等を展開している。本報告では、これまで4年間の活動概要と、主に令和元年度に取りまとめた「意見集」について紹介する。

2. チーム愛の結成・活動概要

愛知国道事務所では、名古屋環状2号線等の道路事業を進めており、事務所に所属する女性技術者のみならず、多くの建設会社や建設コンサルタント会社の女性技術者が事業に携わっている。そういった背景を活かして、平成27年度に女性技術者による座談会を開催し、「今後は、男女問わず働きやすい環境を目指して、女性技術者が声を上げ現場環境の改善等を訴えていくことが重要」であることを確認した。これを受け、本格的な活動に向けて、平成28年度にチーム愛を結成した（令和2年3月現在のメンバー総勢59名（建設会社28名、建設コンサルタント会社16名、行政等15名））。

平成28年度からは、主にハード面での働く環境に着目し、建設工事現場等の現地調査や意見交換を行い、環境改善に向けた「提案書」をまとめた（図-1、図-2）。提案書を受けて愛知国道事務所においても、快適トイレや女性技術者の休憩施設の設置等を推進するとともに、女性技術者の交流の場としてチーム愛の活動を継続的に実施してきた。

平成29年度からは、女性技術者が更に建設業で活躍できるよう、働き方改革に繋がる i-Construction の事例についてメンバー間で勉強会を開催し、情報共有してきた。また、建設業のイメージアップや、未来を担う建設系学生等への入職支援活動も展開しており、現場見学会や建設技術フェア（学生交流ひろば）を通じて、チーム愛メンバーが就職した時の不安や就職後の実態を本音で語る場を設け、学生が抱く建設業入職に当たっての不安等の相談に応じてきた（写真-1）。これらの活動を平成30年度まで継続し、ハード面での働く環境や女性技術者同士での情報共有の

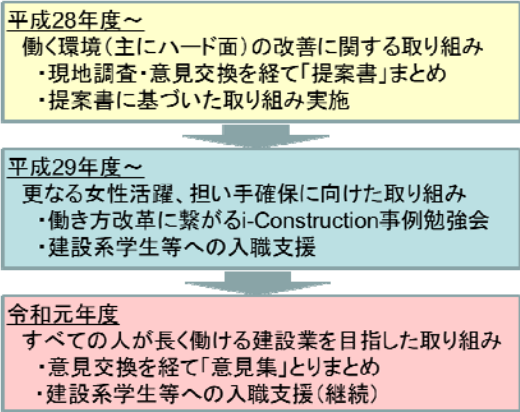


図-1 チーム愛の活動経緯

- 女性技術者が活躍できる建設職場環境に関する提案
1. 全ての工事現場に「快適トイレを設置」
 2. 監督職員待機所の「トイレ環境の改善」
 3. 女性技術者が集まり情報交換を行う「交流の場の創出」
 4. 女性が働く場へ「休憩施設の設置」

図-2 H28 年度職場環境改善に関する提案書の項目



写真-1 建設技術フェアでの入職支援

キーワード 建設業の担い手確保、ダイバーシティ、女性活躍、働き方改革、建設業イメージアップ

連絡先 〒464-0066 名古屋市千種区池下町 2-62 愛知国道事務所計画課 TEL 052-761-1194

場の創出・活性化においては、ある程度の成果を得たものと考えられる。

3. すべての人が長く働ける建設業を目指して「意見集」とりまとめ（令和元年度）

平成30年度までの活動を振り返り、メンバーからは、今後、更に働く環境の改善を進めるためには、女性活躍推進を単なる女性の問題でなく、男性も含め、会社・発注者全員で考えるべきとの意見が出された。このため、令和元年度は「すべての人が長く働ける建設業を目指して」をテーマに、ハード面のみならず、コミュニケーションや意識面での改善、超過勤務縮減、休暇取得、技術力向上等について意見交換を重ね「意見集」を取りまとめることとした。

意見交換会は、グループディスカッション＋全体討論で合計3回行い、1回目は自由に課題抽出や改善方を議論、2回目は1回目の結果を元にテーマを分類し、テーマ毎に課題や改善策を深掘りして意見集案を作成、3回目で意見集案に対する追加、削除、修正を加え意見集を取りまとめた。

意見集の構成は、まず、メンバーが日頃感じ、困っている、働く「現状」を整理したうえで、メンバーの「意見」をそのまま記載し、その中からチーム愛としての意見を代表する意見やメンバーの多くが共感できる内容についてチーム愛からの「提案」としてまとめた。「意見」にはメンバーの働く立場や職務内容に応じて相反する意見や、少数の意見も含まれるものの、メンバー全員の本音を伝えるため取捨選択せず記載した（例：業務の平準化推進 vs メリハリのある年間スケジュールが良い、体調の問題を男性も認識してほしい vs 体調などデリケートな部分には触れてほしくない）。また、令和2年1月に国土交通省及び関係6団体が取りまとめた「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」との関連性を明確にするため、新計画の内容に関連付けて体系的に項目を整理した。意見集の項目を図-3、本文の一例を図-4に示す。



図-3 けんせつ小町・チーム“愛”「意見集」の項目



図-4 意見集の本文

4. おわりに

チーム愛では、今回まとめた「意見集」を元に、今後はメンバーそれぞれが、会社や行政・業団体に対して、より働きやすい職場環境を目指した議論を進め展開していく。

チーム愛の活動に対しては、受発注者の垣根を超えた横断的な活動であり一時的な活動に留まらないスケール感のある活動として評価をいただいております（第4回けんせつ小町活躍推進表彰（主催：社団法人日本建設業連合会）の最優秀賞受賞時の審査員講評より）、今後も継続的に活動することで、技術者の交流や情報交換の場が活性化され、建設業が真に働きやすく魅力的な職業となるよう取り組んでいきたい。